

## 開 議

○**渋谷佐輔議長** おはようございます。

これより本日の会議を開きます。

本日の会議に欠席の通告議員は、13番、蒲生光男議員、14番、安部 隆議員、15番、町田義昭議員の3名であります。

よって、ただいまの出席議員は定足数に達しております。

なお、寒河江忠農業委員会会長から、本日の会議を欠席させてほしい旨の届け出がありましたので、ご報告いたします。

本日の会議は、配付しております議事日程第3号をもって進めます。

### 日程第1 市政一般に関する質問

○**渋谷佐輔議長** 日程第1、市政一般に関する質問を昨日に引き続き行います。

それでは順次、ご指名いたします。

#### 五十嵐智洋議員の質問

○**渋谷佐輔議長** 順位6番、議席番号12番、五十嵐智洋議員。

○**12番 五十嵐智洋議員** おはようございます。

過日の市長選挙では、私に幹事長になってくださいと市長から依頼されまして、お引き受けいたしました。私、人の選挙だと自分の選挙以上に頑張る男でして、あともう一つは、12年間市長の激務に耐えてこられて財政再建を果たさ

れた内谷重治氏の政治信条とかを学びたいと思って、1週間行動をともにさせていただきました。大変有意義な時間を過ごさせていただきました。私も街頭演説を10数回立たせていただいたり、以前私、福祉施設に勤めていたときに地域交流の長をしております、広報紙を伊佐沢と豊田を除く全域に配って、みずから地区長さんに配っておりましたので、ある程度どこにお邪魔してもわかっていただいて、特別養護老人ホームなどの話をしますと、知ってる方はそれなりの年齢の方はいらっしゃいますから、じつと聞きいただいていた大変有意義な1週間を過ごさせていただきました。その点では、今泉さんには感謝しなくちゃいけないなというふうに思っております。

選挙カーのスタッフと打ち合わせをしまして、ずっと市内を一巡していくわけですから、まず美しい日本語を使おうじゃないかというふうなことを打ち合わせをして、なるべく紙に書いたものなどを読まないようにして臨機応変にやりましょうと言っていました。寒い中、駆け寄ってくださる方がいらっしゃいますから、そのときは風邪など引かないように、どうぞご自愛くださいと、こんな調子ですよ、美しい日本語。

あと、今泉さんのほうでは、選挙カーから、うそつきだなんて流れてくるんですね。そうしますと、個人演説会とか街頭演説は当然有権者の方が聞いているんですけども、街頭でやったって子供さんとかいらっしゃるんですね。あと選挙カーを追いかけてきますよね。そうしますと、どうでしょうかね、ですから、子供ってまねするんですね、悪いことは。それで、1番に書いてありますけども、12年間市民に選ばれた市長ですから、当然政治家ですから批判はこれがありますよね、たくさん、多々。今回の選挙戦は、そういうものは一切市民に選ばれた市長に敬意も表さないというような感じが私はしたんです、私だけかもしれませんが。それ

について市長はどうお考えですか。

○**渋谷佐輔議長** 内谷重治市長。

○**内谷重治市長** おはようございます。

五十嵐智洋議員のご質問にお答えしたいと思います。

私も昨日も少しお話しさせていただきましたけども、まことに残念な選挙だったなと。特に市の職員等々については、急遽予定などもいろいろ立てておられた方もいらっしゃると思いますが、変更していただきながら投開票、また期日前の投票なども実は非常に市民の皆様のご協力がないとできないわけですが、さらには当然お金もかかるわけです。ただ、選挙はやはり無投票じゃなく、しっかりと市民の皆様を選択をしていただく、そういう場でありますので、そういう意味ではよかったですけども、残念な選挙、この一言に尽きると思っています。

特に私としては、うそつきというふうなことを、いわれのない私に対する侮辱ですよ。それを有権者の方だったら、これ正しいか、あるいはうそなのか、そのうそつきということがですね、それはある程度判断いただけると思うんですが、子供たちが今の内谷というのは、うそつきなんだなって繰り返し繰り返し、恐らく何百回も言ってるでしょうから、天気もよかったので、大分外に出て自然と耳に入ってきたことがあると思いますので、そういう意味では、常軌を逸した相手候補の街頭での、あるいは公然でのそういった言葉というのは非常に悔しい思いもしましたし、残念だったというふうに思っております。

○**渋谷佐輔議長** 12番、五十嵐智洋議員。

○**12番 五十嵐智洋議員** 政治家は公の人、公人ですから、やはりこれはいろいろな批判を受けるのは当然ですよ、これはね。100点満点はないわけですから。ただ、社会的常識とか公序良俗あると思うんですよ。ですから、後援者と限られたところでいろんな厳しいことを言う

のは、これはありだと思いますけど、公然に余り、誹謗中傷、程度のものであると思うんですよ。ですから、詐欺師だとかペテン師というのはやはり最大の侮辱であって、名誉毀損も考えられると思います。これについて訴えるとかということはないと思うんですけども、どのようにお考えですか、市長。

○**渋谷佐輔議長** 内谷重治市長。

○**内谷重治市長** 名誉毀損とか侮辱ということで訴えても、訴えなければならぬ内容だったのではないかなと自分では思っております。ただ、一方で一騎討ちの選挙で投票率は低かったわけではございますけれども、投票の有効投票数の8割を私がいただいたということは、市民の皆様は理解されていたんだなという、そういう私としてはありがたい選挙の結果でもありましたので、そこについては今後どうしていったらいいのか検討して、場合によっては自分としてはやっぱり訴えたいという気持ちはないわけではございません。

○**渋谷佐輔議長** 12番、五十嵐智洋議員。

○**12番 五十嵐智洋議員** やはりある程度選挙ですからヒートアップしますと、いろんなことが起きるんですけども、冷静にこれから判断して、4年間これから負託されたわけですから、頑張っていたきたいなというふうに思います。

2番目の市内介護施設の現状について厚生参事にまずは伺います。

これ選挙の争点にもなったわけですよ。今泉候補は、特別養護老人ホームが足りないからつくる必要があると、これまでも訴えてきたというふうなことをおっしゃってました。選挙公報にもちゃんと重要な争点として書いてあったわけですね。そこで、内部資料か何かで今泉候補の140名ぐらい待機者がいるのだというようなことをお見かけしました。以前は200人ぐらいいたということもあったんですけど、特別養護老人ホーム、今、今泉の寿泉荘さんに100ベ

ッド、慈光園に140ベッド、あと私が初代施設長をしました地域密着型特別養護老人ホーム・野の香、館町南にありますけど、あれは29床ぐらいですね。269床今現在あります。野の香も、やはり特別養護老人ホームが欲しいなということで、長井市が介護サービス計画にのっとして私どもの法人が建てたやつですね。

以前は待機者というのはなかなかわかんなかったんですよ、特老の待機者というのは。自分のところはわかりますよ。自分のところは待機者リストはありますから、申し込まれた。以前は、要介護1でも2でも、いらっしゃるものは受け付けていたんですよ。ところが、要介護3以上でないと特別養護老人ホームには入れないということがあって、ただ、前のデータもありますから、お返しするわけにもいきませんからそれをもらってたりして、かつ重複して施設を、申し込みにいらっしゃったときには、私が例えば相談を受けた場合、いろんなことをお聞きして、うちだけでなく、ほかにも申し込む方法もありますよと。先にあいたほうに入ることができますよと。こういうふう情報取得、過日も、うちの囲い込みっていけないんですよ、自分の法人だけでサービスを終結できません。ですから、ケアマネジャーも、そういうことはしっかり守って。ですから、何カ所も重複して申し込んでいる方もいらっしゃる。

大分前に申し込んだ方で亡くなってる方もいらっしゃる。こういうことだと、どうしても数が多くなるんですよ。それを最近、別な取り組みをしている、私も実務から離れて4年もなりますけども、直近の特老3施設の本当の数、待機者の数、何人か。そして、調査方法はどのようにやっていたらっしゃるのか。あと、他市と比較して特老の人口当たりの入所定員は多いか少ないか。ちなみに、長井市は人口何人、切ったんですか、ぎりぎりですよ。2万7,007人と最近見てきましたけど、2万7,000人として

も269床ですから、ほぼ100名に1ベッドがあるんですね。南陽市は3万1,000人なんだけど、218なんですよ。ですから、まず厚生参事ね、待機者の実数は幾らか、あと他市と比較してどのような状況か、お答え願います。

○**渋谷佐輔議長** 佐野安広厚生参事。

○**佐野安広厚生参事** 特別養護老人ホームの待機者数でございますけれども、直近のデータといたしまして、実人数で73名でございます。議員からありましたように、要介護3以上の方になります。そのうち在宅の方が44名というふうになってございます。

待機者の調査方法でございますけれども、3施設から待機者名簿を提出いただきまして、死亡、転出などの資格喪失者を除き、加えまして議員からもありましたけども、重複して申し込みをされている方の現状を把握いたしまして、実人数を出しております。基準日として4月1日、8月1日、12月1日に年3回データをいただいておりますので、先ほど申し上げた待機者数につきましては8月1日現在の人数になります。

他市との比較ということでございますけれども、山形県のホームページに掲載されております介護保険事業者情報をもとに、特別養護老人ホームだけでなく介護保険で利用できる施設の定員を65歳以上の人口で除しまして、1,000人当たりの施設定員数を算出しております。長井市では、1,000人当たり55.5人ということになりまして、13市ではトップの定員数でございます。ちなみに、2番目が東根市の49.8人、次いで尾花沢市の49.1人というような状況でございます。

○**渋谷佐輔議長** 12番、五十嵐智洋議員。

○**12番 五十嵐智洋議員** 今、実際の待機者、本当の待機者人数が厚生参事から8月1日現在で73人だと。そのうち在宅、おうちで待っていらっしゃる方が44名、この方たちは大変厳しい

状況にあると思うんですね。要介護3以上で、おうちで、在宅サービスも使っていると思うんですけど、ヘルパーさんとか。でも、かなり厳しい状況です。29名は、ですから、どこかの施設に入って待っているわけですから、緊急性はないとは言えませんが、今のところは施設で介護を受けているということですね。

その44名が本当に今困っているというふうに判断した場合、200人も150人も待てれば、これは1年も2年もかかるかもしれませんが、現在、特老が269床あって、そうしますと、どれぐらい年間あくかというのはわかりませんが、これは。ただ、かなり高齢化していますから、私の実感で言いますと結構な数のベッドがあいて、例えば病院に転出するような方もいらっしゃいますからね。そうしますと、これははっきり答えられないかもしれませんが、大体どれぐらい待てば特老に入れるケースがあるか。もちろん特老の入所判定というのは、困った方から優先順位があるわけですが、専門家の感覚としていかがですか。

○**渋谷佐輔議長** 佐野安広厚生参事。

○**佐野安広厚生参事** 実情、議員からありましたように、詳細についてなかなか把握できない部分というのはございますけれども、市役所の中で実務をしております、住所変更でありますとか福祉あんしん課のほうに届け出がございまして。その際に、どのぐらいお待ちになりましたかという問い合わせもやりながら、いろいろサービスの向上に向けておりますけれども、おおむね1カ月から長くても6カ月というふうなことでございますので、平均すれば二、三カ月というふうに捉えてございます。

あわせて、県のほうからのヒアリング等々で、どれぐらいで入所できますかというふうなヒアリングの際に、おおむね6カ月ですというふうに遠慮してお話したということもお

聞きしましたけれども、その際にも、長井市さんはいい状況ですねといいますか、市民の方はサービスを受けられますねというふうなこともお話をいただいたということをお聞きしますと、状況としては、私のほうで把握しているその辺のところは間違いのない情報なのかなというふうに考えておるところでございます。

○**渋谷佐輔議長** 12番、五十嵐智洋議員。

○**12番 五十嵐智洋議員** この特老に申し込まれて相談を受けた場合に、当然一番聞かれるのは、どれぐらいで入れますかということなんです。ただ、これは相談員とか施設長とかホーム長とかは軽々に言えないんですよ。希望を持たせて、1カ月、2カ月で入れますよなんてことは決して言えないんですよ。ただ、今、厚生参事からあったように、本当の待機者とか、あと市内の特老が269床と、ほかの市よりも多い状況、いろんなことを加味しますと、3カ月前後ぐらいで入れる場合もあるし、一、二カ月で入所可能な場合もあるんですよ。

2番に、申し込み要件は要介護3以上ですから、これはいいですけど。これ入所を実際施設で入所判定会議をやるんですよ。きちっとしたこと、いろんな専門職、施設長、ホーム長、看護師、あと医師の意見書とか、いろんなものを集めて、その次の方、もしベッドがあいた場合に、次の方をどうしましょうか、次の次の方をどうしましょうかということをするんですよ。ですから、申し込み順ではないんですよ。例えばご家族がいっぱいいらっしゃるって何とかかなりそうだ、少しぐらいは協力していただけるんじゃないかとか、あと老老介護の場合なんかですと点数が上がる。あと在宅サービスを使った期間が長い、ずっとデイサービスでしてるなんてことをいろいろ加味して点数をつけるんです、100点満点で。そして、70何点ぐらいだと上のほうに来て、じゃあこの方は次だなと、こういうことをするんですけど、私が言ってること

は正しいですか。

○**渋谷佐輔議長** 佐野安広厚生参事。

○**佐野安広厚生参事** 今、議員がおっしゃられたことで間違いはないというふうに考えてございます。入所の判定につきましては、各施設で山形県の特別養護老人ホーム入所指針、そちらに基づいて入所判定をしておられるということでございますので、会議を開いて優先順位を決めるわけですが、ご本人の心身の状態だけでなく、介護しておられる家族の状況等も丁寧に聞き取りをして対応しているということでございますので、そのような状況でございます。

○**渋谷佐輔議長** 12番、五十嵐智洋議員。

○**12番 五十嵐智洋議員** 私も特別養護老人ホームの施設長をしたのは4年前ですからね。今、日々刻々といういろいろな制度とかが変わってますから、私も何かしゃべるときはちゃんと調べてお話をすることをまずつけ加えさせていただきたいと思います。

要介護3以上だからといって特老だけということはないわけですよ。いろんな今、老人保健施設とかグループホームとか、あと介護つき有料老人ホームとかありますから、そういった選択もありますし、特老がちょっと無理だったら、そこで待機しているということもあるんですけれども。今、その3番目に行きますけど、特老以外で長井市内で長期入所、短期入所が可能な介護施設はどのようなものがあって、おおむね入所定員はどれぐらいあるかについてお聞きします。

○**渋谷佐輔議長** 佐野安広厚生参事。

○**佐野安広厚生参事** お答えいたします。

長期入所が可能な施設といたしましては、それぞれ入所要件がございますけれども、要介護1以上の方が入所できる老人保健施設といたしましては、市内ではリバーヒル長井が120名でございます。近隣では、白鷹町の白鷹あゆみの園が80名、飯豊町の美の里が30名というような

状況になってございます。長期利用を必要とする要介護1以上の方が利用する利用型医療施設につきましては、吉川記念病院の利用病床が20床というふうになってございます。要支援1以上の方が特定施設入所者生活介護というサービスを利用できる有料老人ホームにつきましては市内に2施設ございまして、定員は46名というふうになってございます。ここまでが広域型というふうに言われまして、他市町村の方も利用できる施設でございます。

長井市の住民の方だけが利用できる地域密着型サービスで入所できる施設といたしましては、要支援2以上の認知症高齢者が利用できる認知高齢者グループホームにつきましては、市内に6事業所ございまして、入居定員につきましては合計で99名でございます。また、同じく地域密着型サービスで通所、訪問、泊のサービスを利用できる小規模多機能型居宅介護事業所は、要支援1以上の方が利用できる施設で市内に3施設ございます。それぞれ宿泊については9名ずつということで、合計で27名を受け入れることができます。

このほかに、外部の介護保険サービスを利用できる有料老人ホームにつきましては、市内に7施設ございまして、141名が入居できるというふうな状況になってございます。

○**渋谷佐輔議長** 12番、五十嵐智洋議員。

○**12番 五十嵐智洋議員** いろいろな施設が昔と比べますと長井市は本当にたくさんあって、介護に困らないまちになったなというふうに思います。ただ、いろいろケース・バイ・ケースで本当に切実な問題もあるんですよ。元気だったんだけど、脳梗塞で倒れて救急車で運ばれました、リハビリも含めて3カ月以内で退院しなくちゃいけませんから、その後どうするんだと、入院しますかと聞かれるんですよ。いろいろな切実なケースがありますよね。そういった相談があった場合、福祉あんしん課、包括支援セ

ンターはどのようなアドバイスをされますか。

○**渋谷佐輔議長** 佐野安広厚生参事。

○**佐野安広厚生参事** お答えいたします。

ご家族の緊急的な事情等につきましては、ケアマネジャーが介護する家族に寄り添って相談を受けまして、地域包括支援センターではケアマネジャーの相談に乗りまして、本人にとってもご家族にとってもよりよい介護となるように支援をしておりますのでございます。具体的には、ショートステイの調整等も含めて対応しているところでございます。

○**渋谷佐輔議長** 12番、五十嵐智洋議員。

○**12番 五十嵐智洋議員** 仮にこれからまた12月に新しい数字ができるわけですね。団塊の世代の方なんかも介護を必要とする場合がありますし、もう少し待機者がふえることもあるかと思うんですよ。特老というのは、当然民間事業者が運営するわけですね。市で直営するなんてあり得ないですね。例えばもう29床地域密着型が欲しいとなった場合、受ける事業者はいらっしゃいますか、厚生参事。ちょっと難しい質問だね。

○**渋谷佐輔議長** 佐野安広厚生参事。

○**佐野安広厚生参事** お答えいたします。

大変難しい質問であると思います。事業者の方の考え方等にもよりますけれども、現在の定員数が果たして足りないのかどうかということも慎重に考えなくてはいけないというふうに思いますが、いろんなサービスの提供もごさいますし、在宅の支援ということにも力を入れてございますので、単純に定員数をふやせばサービスが向上するかどうかというところは、今現在の定員数、ほかの他市との比較も考えまして、慎重にいろいろ情報を収集しながら考えなくてはいけない中身ではないかなというふうに感じているところでございます。

○**渋谷佐輔議長** 12番、五十嵐智洋議員。

○**12番 五十嵐智洋議員** 29床の地域密着型を

しますと、売り上げは大体、すぐ満床になったとして、そんなことはありませんけども、大体1億2,000万円ぐらいだと思うんですよ、年間売り上げ、介護保険から来るものも含めて。多分30人ぐらい職員が要ります。調理も、栄養士とか看護師、介護福祉士、施設長、ホーム長、あとリネンなんかも要りますからね。シルバー人材センターさんからお願いしたりして。全部個室ですから、いろいろ手間もかかりますし、最近の地域密着型というのは、昔の4人部屋とかで、私も大きな施設で働いたことがありますから、例えばおむつ交換なんていうと、台車でおむつを積んで、バケツを積んで、ガラガラガラと、さもおむつ交換に来ましたよみたいな感じで行くんですよ。地域密着型は違うんですね。

私も、施設長の資格を取りに神奈川県のある学校に入って、スクーリングを受けて、通信教育を受けて施設長の資格を取ったんですよ。リバーヒルの幹部だったから施設長なんてことないんです。いろんな理論を学んで、最新の福祉、高齢者介護ってどういうものかということを学んで、そして職員にそれを伝えて、ですから、今の地域密着型のおむつ交換なんていうのは、おむつなんて全然ないような格好で部屋に入っていくんですよ。そして、戸は少しあけておくんですよ。1対1ですから、虐待というケースもありますから。ならないように職員で確認し合う。ささっと外からわからないようにおむつ交換をして、そのおむつ交換したのも袋に隠して見えないようにして、寝たきりになったって、認知症になったってプライドがある、羞恥心がある。こういうことを職員で確認し合って、学んで、本当にその人に寄り添った介護をするというのが今の施設です。

ということは、かなり設備も、お風呂なんか、特浴なんてすごいお金がかかるんですよ。ですから、設備投資も10億円ぐらいしなくちゃいけない。土地を買って、建物。ですから、なかなか

か利益が出るなんていうふうな世界でないですよ。例えば慈光園さんとか長井弘徳会は、いろんなことをやっていますから、トータルで何とか少し利益が出ればいいという世界なんですね。ですから、介護保険も上げるな、施設をつくらってというのは、ちょっと難しいかなというふうに私は今思っています。

選挙戦でやはり当然今泉さんも、よかれと思って特老をつくれとおっしゃったと思うんですけども、間違った情報をもとに、数字をもとにされますと、一般の方はやっぱり多分管理者の方だって、どういう施設がどうだなんてことは専門分野の方でなければわからないですよ。みんないつかは通る道ですよ。例えば今だったら親御さんの介護とかで苦労されて、自分たちだって、いつどうなるかわかりません。ですから、すごく身近な問題なんですよ。ですから、居酒屋でお酒を飲みながら特老が足りない、何年も待つんだなんて言ってる論議はいいですよ、それは。

ただ、公人、政治家とか政治家になろうとする人がきちっと、ちゃんとした情報でなくて流布しますと、どうなるか。どうせ入れないんじゃないか、じゃあうちであつかわんなねごで、そういうふうになるケースもありますよ。だって、初めて施設に申し込んだ人は不安でいっぱいなんですよ。どれぐらい待つんですかと聞かれる。あと料金は幾らですか、年金で入れますか、あとすごい誤解があって、通帳から年金手帳から権利書まで預けるんですかなんて、こういうふうなことを思っている方も現実にいらっしゃるんですね。ですから、そういうものは一切ありませんし、もしお金の管理ができなければ成年後見人だ、あと福祉事務所でも金銭は預かってくれますよね。そういった正しい情報を流して、なるべく介護離職なんかないようにしなくてはいけないというのが今の介護を取り巻く状況ですよ。

市長にお尋ねしますが、もちろん間違った情報をそのままとか、もしかしたらちゃんとした数字を知ってらっしゃっても、選挙ですからこういうふうに争点にしようと思って今泉候補は言われたかもわかりませんが、やっぱり正しい状況をしないと介護サービスをちゃんと受けられない場合がありますけど、今回の選挙戦でこういうことがありましたけど、市長はどういうふうにお考えですか。

○**渋谷佐輔議長** 内谷重治市長。

○**内谷重治市長** このたびの選挙戦で五十嵐議員から街頭でいろいろ応援の弁をとっていただきました。また、支援議員団の皆様からも、それぞれの視点から応援の弁をとっていただいたんですが、やはり日中街頭でございますので、お年寄りの方が多かったんですけども、五十嵐議員の特別養護老人ホームのお話あるいは介護保険のこと等々の話については、やっぱりそういった方々の反応を見てみますと、よくわかっておられない方、ああ、なるほどなど、ああ、そうなんですかというような納得されたような方が多かったのではないかなと思って話を聞いておりましたけれども。

一番このたびのやはり選挙戦で残念だったのは、政策の論争がないということなんですけど、特老とか、あるいは高校生の医療の無料化とか、それぞれのお立場の方から見れば、すごく心ひかれる政策というのがあると思うんですね。ですから、そういったところで特老がなかなか入れなくて大変なんだぞと。だから、私は新しく作るんだと。つくることによって、どういう市民生活に影響があるのかということとか、あと実際どのぐらいの事業費がかかるとか、そういったことは一切やっぱりおっしゃってなかったと思います、話を聞いてみますと。ですから、そういったことで、つくるのはいいんですけども、逆に1年も2年も待たなきゃいけないみたいな、そういう一般的な、それこそ誤った情報

が市民の皆様には植えつけられてしまうと、ちょっと違った問題で課題が出てくるのかなというふうには私、その話を聞いて思ったところでございます。

○**渋谷佐輔議長** 12番、五十嵐智洋議員。

○**12番 五十嵐智洋議員** 平成も残すところあとわずかになりましたよね。あと5カ月ぐらいで新しい年号になると。最近、平成時代を振り返っているいろんな特集が組まれてるんですね。これ11月11日、選挙の告示日に出た介護保険スタート、平成12年度ですね。樋口恵子さんという評論家が、よくテレビに出ていらっしゃった方ですけどね。この方が中心となって、これまで昭和の時代、平成になっても介護というのは嫁がするんだぞと、嫁がするのが美德だ、そういう時代があったんですね。そして、私が平成7年に議員になったときも、現金給付ってあったんですよ。介護してる人にお金をやって、あと温泉に泊まってこいなんて、介護疲れを癒やすために。それで何とかお嫁さんに家族介護を奨励した時代があったんですね。そして、委員会なんかをつくって男性の意見を聞くと、女性がしがっている、介護を逆に。こういった間違っただ論戦で政治家が抑えたこともあるんですね。これおもしろいですね、市長、いろいろ読んでみますと。

それを何とかしなくちゃいけないということでは有識者が集まって、介護を社会全体で見る方法はないかということを探したんですよ。いろんな反対意見があった。与野党議員が嫁がするもんだと。女性の悲鳴、社会を変えたと。いろいろ紆余曲折あったんですけど、平成12年に介護保険制度がスタートしまして、嫁の仕事から専門サービス、本当に研修を受けて、ちゃんとした人がやるんですよとなったんですよ。多くの女性が介護から解放されたわけなんですよ。ところが、やはり施設が足りないとか、誤った情報になると、また嫁さんとか女性が介

護に戻らなくちゃいけないということも出てくるんですよ。そうしますと、やっぱり仕事をやめてとか休んでとかということになる。せっかくの女性が自立して、介護から解放されていたものに逆行する。

ですから、これまで、さっき直近の待機者が73名で、在宅で44名ですよなんて情報は、専門家は情報を共有していたと思うんですけども、一般市民はわからないんですよ。ですから、ちゃんとした情報を流さないと、私、介護職の魅力なんかも言ってますけど、介護3Kだなんて、とんでもないことを言われて、介護職員がいない。これは同じですよ。そうしますと、施設が開所できませんから、やっぱり困る人が出てくると。ですから、ちゃんとした情報を発信して、介護職員育成支援制度をつくってもらいましたよね。

こういったことをしていかないと、せっかくの女性から介護の負担を軽くして、本当に介護する方もされる方も幸せな生活を送ることに逆行する。そうしますと、やはり行政としては何らかの形で正しい情報を発信する必要があると思うんですけども、特老待機者数について、これちゃんとした数字ですから、市報等を通して何らかの方法で情報発信する必要があると思いますが、市長はいかががお考えでしょうか。

○**渋谷佐輔議長** 内谷重治市長。

○**内谷重治市長** 五十嵐議員おっしゃるとおりなんですけども、現在、特別養護老人ホームは平成27年の介護保険制度改正によりまして、原則要介護3以上の方、これは五十嵐議員から何度もあったようなことでもございますけども、在宅で日常生活を営むことが困難な方となりましたが、要介護2以下の方の申し込みもございます。これは今までの経過がありますので、こういったことだと思うんですけども。平成30年度、ことし8月1日現在の要介護3以上の待機者が73名、要介護2以下の待機者は11名、合計84名で



ございました。

ただし、要介護2以下は、基本的には3以上じゃないと申し込みできないということですから、73名というのが正しい数字なわけですけども。待機期間につきましては、市内の特老施設は、緊急度にもよりますが、おおむね3カ月以下となっております。介護保険を利用する方には、必ず担当のケアマネジャーがいるわけでございます。長井市では、ケアマネジャーの連絡会議を毎月開催して、最新かつ正しい情報の共有に努めておりますので、待機者数についても、その都度情報を提供し、利用者本人や家族に正しい情報が伝わるようにしていかなきゃいけないと思っております。

これが今までのやり方なんですけど、今回、そういった誤った認識を持たれた方も少なからずいらっしゃると思うので、ぜひ「あやめR e P o」がございましたけれども、介護保険といますか、特別養護老人ホームとか、あと介護サービスを受ける方、実に多様なサービスを市内のそういった社会福祉法人やら会社の事業所で努力されておりますので、こういった紹介をやっぱりきちんと定期的にしなきゃいけないなど。

今回は本当に混乱した人はいっぱいいると思いますよ。失礼ですけど、特老から見れば営業妨害ですよ。すぐに入れないんだから、どうしようもないと、諦めるという方もいらっしゃるかもしれません。実際本人じゃなくて、自分の親とか、あるいはおじ、おばとか、そういった方々が実際特老とか介護サービスを受けなきゃいけないというふうになって、初めてやっぱりわかるわけですね。それまでは、ある程度の知識を持っててもわからないですよ。

これがやっぱり難しい介護の壁なのかなと思ってまして、そこについては、ぜひ常時そういった正しい情報を市報等で情報提供するのはもちろんのこと、やっぱり年に1回ぐらい「あやめR e P o」で待機されてる方、あとこれは逆

に保育園とか、そっちも同じだと思うんですね。こういった情報をきちっとお知らせするように努力してまいりたいと思います。

○**渋谷佐輔議長** 12番、五十嵐智洋議員。

○**12番 五十嵐智洋議員** 介護保険制度がスタートする前は措置制度だったわけですよ。役所に困ったとって頼み込むと、こちらはどうですかということで選択する余地もなかったわけですよ。これがかつての高齢者社会というのは、家庭の中で女、特に嫁がするのが当然だと思われていましたと、措置制度のとき。今、介護サービスで、サービスを受けることは恩恵ではなくて保険料を払った対価なんですよ。ですから、昔は利用者は、済みません、お願いしますと言ってたんですけど、今は、ありがとう、こうしてくださいと要求できるんですよ。本当に以前あったんですけども、ぜひ正しい情報を発信していただきたいというふうに思います。よろしくお願いします。

3番目に移ります。フラワー長井線の活性化について。

10月21日にフラワー長井線まつりがありまして、ワンコイン列車、100円で片道、荒砥から赤湯まで行けたんですよ。ですから、私も当日、あやめ公園駅から8時何分でしたか、電車に乗って本を読んでやるぞと乗ったんですよ。あやめ公園駅では、またあいてたんですけど、長井駅でどっと乗ってきまして、もう満員。赤湯行きですから、これは超満員ですよ。10時何分の赤湯行きから私は乗って、帰って、またここに着く。そしたら、赤湯駅で超満員です。山手線のラッシュ時みたいな感じ。乗ってる方は、一番多いのは親子連れ。お父さん、お母さんと小さな子供。物すごい喜んで、子供たちはキャッキヤ、キャッキヤと大歓声ですよ。前のほうに行って眺めたり、運転席に行ったり、写真撮ったり、誰1人ゲームなんかをやってる子供はいませんでした。

次に、地域の方が乗ってます。あと高齢者の方も乗ってらっしゃいましたね。あと鉄道マニアの方が乗ってました。本を読んでもなんてないですよ。よく観察しておりましたら、席はいっぱいなわけですよ、座席は。そうしますと、お年寄りが立ってますと、どうぞ座ってくださいとか、逆に子供さん、座ってくださいと、私は大丈夫だからと。いろんなコミュニケーションが生まれて、知らない人もしゃべったりして、すごくいい風景でした。あと、宮内駅や西大塚駅、各駅で催し物もしてましたしね。これはすごいなと思ったんですよ。

当日、ワンコイン列車の10月21日に乗車された方は何人ですか。あと、早朝とか夜間はいらっしやらないと思いますから、余り。その時間帯でどのような利用者数だったかを把握されているか、総務参事に伺います。

○**渋谷佐輔議長** 齋藤環樹総務参事。

○**齋藤環樹総務参事** お答えいたします。

フラワー長井線、運行開始30周年ということで、五十嵐議員からございましたように、フラワー長井線30周年ご乗車ありがとうございますキャンペーンとして10月14日、それからご質問にありました21日、28日の3日間、いずれも日曜日でしたけれども、ワンコイン列車を運行させていただきました。

それで、21日のワンコイン列車の乗車人数につきましても、直接的な計測は山形鉄道ではしていないようですけれども、運賃収入から推計した数値ということで、2,621人ということのようでございます。それから、時間帯での利用者数ということですが、このイベントの開催時間が10時から14時ということのようでしたが、その時間帯の直接的な計測も行っていないようですけれども、乗務員等から聞き取りをさせていただいたところ、イベント前後の時間帯の状況は通常いつものとおりだということのようでしたので、大多数の方がこの

イベント開催時間にご利用いただいたものと考えているところでございます。

○**渋谷佐輔議長** 12番、五十嵐智洋議員。

○**12番 五十嵐智洋議員** 100円ですからね、21日の売り上げが掛ける人数でわかって2,621人乗車された。これに子供は入っていないですよ。子供は別ですよ。総務参事、どうですか。

○**渋谷佐輔議長** 齋藤環樹総務参事。

○**齋藤環樹総務参事** 子供さんも入ってるそうです。

(「幼児は入っていない」と呼ぶ者あり)

○**齋藤環樹総務参事** 幼児は入っていないそうです。

○**渋谷佐輔議長** 12番、五十嵐智洋議員。

○**12番 五十嵐智洋議員** 3,000何人ぐらい乗ったんだろというふうな推計ですよ。子供さんはお金払わないわけですから、幼児は。わかんないですけど、大体子供さんはかなり乗ったんですよ。そして、10時から14時、つまり4時間ぐらいにこの人数が凝縮したわけですから、すごい満員列車だったですね。通常フラワー長井線には、定期以外の方って1日平均300から350人ぐらいの乗車と思うんですが、この数字は間違ってますか。

○**渋谷佐輔議長** 齋藤環樹総務参事。

○**齋藤環樹総務参事** 若干数値は古いんですけども、28年の9月に調査した数字があるようございまして、エージェント、旅行会社経由の人数を除いた人数で通常の利用客ということになりますと、平日はおおむね1,500人、土曜日は650人、日曜日は500人という調査結果があるようございまして。

○**渋谷佐輔議長** 12番、五十嵐智洋議員。

○**12番 五十嵐智洋議員** 定期を除いてください。

○**渋谷佐輔議長** 齋藤環樹総務参事。

○**齋藤環樹総務参事** お答えいたします。

山形鉄道の30年3月期の決算では、乗車人数

が57万9,000人ということですので、そこから類推しますと、定期利用者等を除きますと、おのおむね計算しますと380人ぐらいかなと考えられる数値もございます。

○**渋谷佐輔議長** 12番、五十嵐智洋議員。

○**12番 五十嵐智洋議員** 380人ぐらいの方が一般客ですよ。往復20分かかりますから、分散するわけですよ。要するにかなりすかすかの状態で動いている時間帯もあるということですよ。ですから、私、28日も乗ったんですよ、ワンコイン列車。荒砥の陸橋はすごいですよ。改めてフラワー長井線は地域の宝物だなというふうに思いまして、やはり鉄道マニアが来たがる。いろんな魅力、そして紅葉風景、すごくいいですよ。ですから、年間通してこのワンコイン列車というものを、ほかのイベントもですけど、組み合わせてできると思うんですよ。まず職員のモチベーションが上がるんじゃないですか。余り満員なんで列車がおくれたんですよ、乗りおりに時間がかかって。うれしそうに、今2分おけてますから、お急ぎになってお待ちくださいなんて声が弾んでましたよね、職員の方。いいなと思えましたね。おくれは挽回できるわけですからね。

そして、市長にお伺いしますけども、これまで長井線の活性化、9月議会でも申し上げました。ただ、言うはやすしで、なかなか売り上げを上げる、定期、高校生は減りますよね。なかなか難しいと思うんですよ、実際。ただ、何とかして維持していかなくてはならない。このワンコイン列車にヒントを感じたんですよ。こんなに沿線、また沿線外から駆けつけてくださって、すごく子供さんの情操教育によかったと思いますよ。うちでゲームなんかしてるよりね。

ですから、これを何とか起爆剤にして、沿線の2市2町、また県の見方もかわると思うんですよ。ですから、損して得とれ。毎週とは言いませんけど、毎月こういうようなことをやって、

ぜひ長井線に注目を集めていただいて、高齢者の介護予防にもなると思うんですよ。電車に乗って、天気の良いとき。菊人形も無料でしたよ。赤湯の菊人形、長井線、あやめ公園は私、無料にしろって言ってもしませんけど。そういうのを組み合わせて、いろんな起爆剤、あと100円で片道ですからね。例えば赤湯から来て長井駅でおいて、駅前を散策してラーメンを食べるとか、そば食べるとか、こういった経済効果もあると思いますよ。

あと道の駅から交流人口もありますけど、長井駅からまた交流人口とか、そういったすばらしい交流人口の増加、地域経済への貢献、いろんなメリットがあると思うんですが、今後、山形鉄道と協議してワンコイン列車、お祭り以外にもするべき価値があると思うんですが、市長の考えはいかがでしょう。

○**渋谷佐輔議長** 内谷重治市長。

○**内谷重治市長** 五十嵐議員には、9月議会に引き続きましてフラワー長井線の利用拡大に向けたご提案、ご提言をいただきまして、厚くお礼を申し上げたいと思います。

議員おっしゃるように、市民バスも同じなんですけども、お客様が乗る乗らないにかかわらず、運行する経費は一緒なので、それでしたら少しでも多くの方に乗っていただく工夫、それが増益につながるような、やっぱりそういう方法をいろいろ知恵を出し合いながらやっぴかなきゃいけないと思っております。そういった意味では、五十嵐議員のご提言というのは大変ありがたいというふうに思っております。

ただいま総務参事からいろいろな1日の乗車人数やら経過などについてお話がありましたけれども、フラワー長井線まつり以外の日のワンコイン列車の状況でございますけれども、山形鉄道に確認しましたところ、通常どおり1両編成で運行して、特に混み合った状況ではなかったということでございます。やっぱりPRだ

と思うんですね。きっとフラワー長井線まつりについては年に1回、1日、2日とかするわけですけども、3日間とか。そのPRをきちんと沿線の2市2町でやってますし、あとさまざまなイベントなども別途PRしているんで、乗っていただけると。

ただ、それ以外PRしないと乗らないということなんで、議員おっしゃるように、定期的に例えば毎週というのは、後で申し上げますが、いろんな課題もございまして、それを毎週はできないとしても、月1回か2回とか、そういう定期的に例えば月第1と第3日曜は100円で乗れるんだとか、そして議員おっしゃるように、やっぱり子供のころから鉄道に乗ることが、ずっとその後々鉄道に対する愛着とか利用の頻度につながってくると思ってます。市民バスがなぜ利用頻度がふえないかという、やっぱりバスを余り乗ったことがない人が市民は多いんですね。ですから、そういったことにつながるとは思います。

ただ、課題もありまして、地域づくり推進課のほうで山形鉄道のほうに相談したところでも、これ運輸局、国土交通省の、ここですと遠く地方運輸局のほうにさまざまな手続の許認可をいただかなきゃいけないんですね。その手続と、あと面倒なのがJRとの連携した切符ってあるんです。まず1つがJRの週末のウィークエンドパスというのがあるんですね。例えば首都圏で、あれは1日か2日で乗り放題で幾ら幾らと、1万円だとかってあるんですね。東日本管内、そしてそのローカル線も使えますよということで、それについては売上げの何%ぐらいということで、実は山形鉄道も今から10年ぐらい前に、それまではいただけてなかったんですが、交渉して、いただけるようになったんです。

そういったことへの影響と、あと例えば山形から奥羽本線、いわゆる山形線を使って赤湯か

らフラワー長井線で長井まで行く。この切符を一々買わないで買える切符もあるんです。そういったところは、最初から通常の料金で切符を売ってますので、そのところが日曜日を、毎週それを変えなきゃいけないという、そういったところの課題が残るということでございました。

そういった切符販売の調整と、またあとはエージェント利用客への運賃差額返金、これはエージェントで、例えばきのうも台湾の旅行会社の人と夜ちょっと話をしたんですが、少人数、六、七人とか、あとは団体のそういうお客様を連れてくると。やっぱりローカル線に乗るというのは楽しいので、目玉の一つとして使ってもらえるんですね。通常料金をいただけてるんです。それが日曜日に当たったら、そのお客さんだけ通常料金でいかないと。そういったことなどの課題はあるようです。

ただし、これは乗り越えられない壁ではないので、回数が毎週とはいかなくても、何らかの形で今回のご提言をいただいて、山形鉄道と協議あるいは地域づくり推進課と利用拡大に向けての一つの提案として生かさせていただきたいというふうに思います。

○**渋谷佐輔議長** 12番、五十嵐智洋議員。

○**12番 五十嵐智洋議員** 何らかの方法でもがいて、長井線の存在意義はここにあるんだというようなことを差別化していくべきだと思います。ガソリン代も高くなってきましたね。どこかのホームセンターに行って、子供の乗り物がありますね、100円入れたらガチャガチャガチャと。2分すれば100円ですよ。ワンコインであれば、大分親子と触れ合って、子供の心に長井線に乗ったという思い出はすごいですよね。ですから、危機に瀕してるわけで、存続の。何とかいろんなアイデアを駆使して頑張っていたきたいなと思います。